

授業概要

「現象学」とは、私たちの「経験」を出発点として、世界のありよう、そして私たち自身のありようを理解しようとする学問です。この授業では、哲学の伝統の一つである現象学を通じて、哲学の入門的講義を行います。

前半の回では、現象学の基本的な考え方を学びます。ここでは、現象学が出発点とする「経験」とはどのようなものであるかが問題となります。

後半の回では、応用編として、具体的な問題も交えながら、さまざまなトピックについて現象学の立場から考察をしていきます。

授業計画

第 1 回	現象学とは何か①：現象学の特徴
第 2 回	現象学とは何か①：現象学の意義
第 3 回	経験の分類①：「知覚」の考察
第 4 回	経験の分類②：「知覚」と他の経験の比較
第 5 回	経験の基本的特徴①：経験の志向性
第 6 回	経験の基本的特徴①：経験の一人称性
第 7 回	ここまでのまとめ
第 8 回	志向性①：思考と真理
第 9 回	志向性②：意味と経験
第 10 回	存在①：実在論と観念論
第 11 回	存在②：心身問題
第 12 回	価値①：価値と価値判断
第 13 回	価値②：道徳
第 14 回	社会①：他人の心
第 15 回	社会②：約束
第 16 回	筆記試験（教場レポート形式）

到達目標

- 哲学の基本的問題を理解できる。
- 論理的な文章を書くことができる。

履修上の注意

- 初心者から上級者まで広く受講できる授業です。高校倫理を履修していたかどうかは全く関係ありません。
- 授業内容についての質問は、基本的に、毎回授業前後に受け付けます。積極的な質問を歓迎します。
- 各回の内容は、進捗や理解度に応じて変更する可能性があります。

予習・復習

- 毎回の復習は必須です。復習の仕方については、授業でガイダンスします。
- 予習は必須ではありませんが、関心や余力のある人は、教科書の該当項目を予め読んでもらって構いません。

評価方法

- 平常点（出席点およびリアクションペーパーの内容の評価）50%
- 筆記試験（教場レポート形式、その場で提示された課題について論じる。）50%

テキスト

- 教科書名：現代現象学—経験から始める哲学入門（ワードマップ）
- 著者名：植村玄輝, 八重樫徹, 吉川孝 編著, 富山豊, 森功次 著
- 出版社名：新曜社
- 出版年（ISBN）：2017年 978-4788515321